

評価基準

※審査員1人あたり

【①主観評価】

項目	評価基準	配点
1. 全体概要		
①	本業務の理解 ・本業務の目的を理解しているか ・標準化に関する本市、国、システムベンダーの状況を理解しているか ・本業務への対応方針は適切であるか	10
②	品質管理の考え方 ・品質管理への意識は十分であり、そのためのルールが定められているか ・品質を担保するための設備や体制が整っているか	20
③	機械化(自動化)の考え方 ・本業務の広い範囲で、機械化(自動化)することが可能か。 ・機械化できない理由が妥当であるか	20
④	セキュリティ管理の考え方 ・セキュリティ管理への意識は十分であり、そのためのルールが定められているか ・セキュリティを担保するための設備や体制が整っているか ・昨今の個人情報漏洩への対策が取れているか	30
⑤	類似業務の実績 ・類似業務の実績があるか ・特に標準化において、本業務に活用できる知見があるか ・標準化作業について他市と共有できる作業があるか、割り勘効果が見込めるか	20
2. 準備作業		
①	準備スケジュール ・手順に不足はないか ・予定通り(令和9年4月1日)に業務を開始できるか	15
②	課題と対応方針 ・課題の捉え方は適切か ・対応方針は適切か	20
③	要件定義 ・検討テーマに漏れがないか ・実現可能なスケジュールであるか ・本市の負担は過度でないか(繁忙期への考慮があるか)	20

④	設計・製作	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票設計書や新業務フローのイメージが具体的でわかりやすいものであるか ・記載事項に不足はないか(ここでは様式を評価し、内容(ダミー)は評価しない) ・運用テストの項目として十分であるか 	15
⑤	システムベンダーとのテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・システムベンダーとのテストに関する理解がわかりやすく記載されているか ・実施時期は適切であるか ・システムベンダーとの役割分担は適切であるか ・テストの完了基準(合格条件)が明確であり適切であるか 	20
⑥	運用テスト ※印字データ受取から納品までの、本番を想定したテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・運用テストの目的についてわかりやすく記載されているか ・実施時期は適切であるか ・本市及びシステムベンダーとの役割分担は適切か ・運用テストの完了基準(合格条件)が明確であり適切であるか 	20
⑦	前提条件・制限事項	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票製作業務を行うための前提条件や制限事項がわかりやすく記載されているか ・前提条件や制限事項は、本市が許容できる範囲(市民サービスに重大な影響を与えない)であるか ・対応できない事項に記載依頼事項が含まれる場合、大幅な減点対象とする 	10
3. 印刷・印字及び封入封緘・発送等			
①	業務スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・工程に不足はないか ・データ提供から局出し/搬入/納品までの期間(短期間であるほど高評価) ・引抜指示が可能な時期と頻度(搬入や納品時期に近いほど、頻度が高いほど高評価) 	20
②	課題と対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の捉え方は適切か ・対応方針は適切か 	10
③	印字データ受取方法	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ上の問題はないか ・短期間にやり取りが可能で、印字データの修正が容易に行えるか ・本市の負荷が過剰でないか ・回線障害時の対策が提案されているか 	30
④	印字データの並び替えと仕分け	<ul style="list-style-type: none"> ・印字データの並び替えと仕分け方法がわかりやすく記載されているか ・仕分け一覧表のイメージはわかりやすく記載されており、かつ、本市が必要とする項目が盛り込まれているか ・本市の負荷が過剰でないか 	20

⑤	帳票のマッチング (名寄)	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票のマッチング方法がわかりやすく記載されているか ・ミスが起こり難く、かつ、効率的な考え方であり、実現に十分な機器、体制が用意されているか ・ミスが発生した際の対応フロー等が提案されており、有効な案であれば高く評価する ・本市の負荷が過剰でないか 	20
⑥	封入封緘	<ul style="list-style-type: none"> ・封入封緘方法がわかりやすく記載されているか ・ミスが起こり難く、かつ、効率的な考え方であり、実現に十分な機器、体制が用意されているか ・ミスが発生した際の対応フロー等が提案されており、有効な案であれば高く評価する ・本市の負荷が過剰でないか 	10
⑦	引抜・発送	<ul style="list-style-type: none"> ・引抜方法がわかりやすく記載されているか ・ミスが起こり難く、かつ、効率的な考え方であり、実現に十分な機器、体制が用意されているか ・ミスが発生した際の対応フロー等が提案されており、有効な案であれば高く評価する ・本市の負荷が過剰でないか 	20
⑧	前提条件・制限事項	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷・封入封緘業務を行うための前提条件や制限事項がわかりやすく記載されているか ・前提条件や制限事項は、本市が許容できる範囲(市民サービスに重大な影響を与えない)であるか ・対応できない事項に記載依頼事項が含まれる場合、大幅な減点対象とする 	10

【②客観評価】

項目	評価基準	配点
1. 価格評価		
① 価格	満点(40点) \times (提案価格のうち最低価格 \div 自社の提案価格)	40